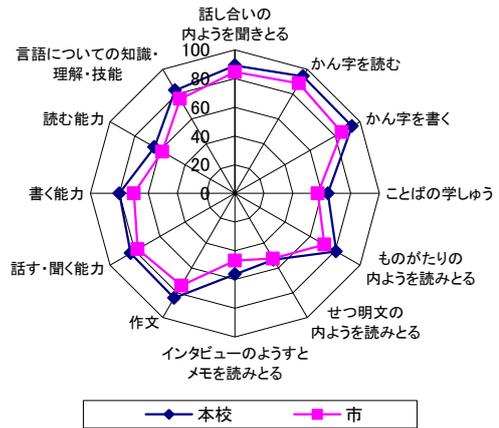


宇都宮市立今泉小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞きとる	89.3	84.6
	かん字を読む	94.3	88.6
	かん字を書く	93.6	85.4
	ことばの学しゅう	64.4	57.3
	ものがたりの内ようを読みとる	80.9	71.5
	せつ明文の内ようを読みとる	53.5	52.5
	インタビューのようすと凶犯を読みとる	56.4	46.8
	作文	84.3	74.2
観点別	話す・聞く能力	83.3	77.8
	書く能力	80.0	69.9
	読む能力	64.5	58.2
	言語についての知識・理解・技能	83.0	76.0



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞きとる	・平均正答率は宇都宮市の平均を4ポイント上回る。「大事なことを落とさないように聞き取ることができる」設問には、95%の平均正答率であった。しかし、「話題に沿った意見と理由を考えて話すことができる」設問の平均正答率が77%であり、課題を残した。	・学習形態を工夫し、友達の見聞を聞いたり自分の意見を発表したりする活動を多く取り入れ、習慣化させる。
かん字	・平均正答率は市の平均を7ポイント上回る。漢字の読み書きは定着している。	・読み替えの漢字や送り仮名のある漢字をさらに定着させる。復習テストなどを行いながら繰り返し練習させる。
ことばの学しゅう	・平均正答率は市の平均を7ポイント上回る。しかし、全体的に平均正答率は低めである。特にローマ字のつづりの設問は正答率が56%であり、課題を残した。	・ローマ字表を用いての読み書きを行い、定期的に復習させる。
ものがたりの内ようを読みとる	・平均正答率は市の平均を9ポイント上回る。「登場人物の気持ちを読み取ることができる」設問の平均正答率は84%以上であった。「場面の様子を読み取ることができる」設問では平均正答率が73%であり、課題を残した。	・場面分けを行ったり物語の要約をしたりすることで、場面の様子を考える活動を多く取り入れる。
せつ明文の内ようを読みとる	・平均正答率は市の平均とほぼ同じである。しかし、「段落の文章の内容を読み取る」設問では平均正答率が23%であり、課題を残した。	・説明文を読み取る際には、段落の内容のキーワードを落とさず、段落ごとのつながりを考えて短く要約する活動を重点的に取り入れる。
インタビューのようすとメモを読みとる	・平均正答率は市の平均を10ポイント上回る。しかし、全体的に平均正答率は低めである。特に「与えられた情報を正しく読み取り、必要な事柄を補うことができる」設問は47%であり、課題を残した。	・他教科との関連を図りながら、インタビューする機会などを取り入れ、話を聞いたり質問したりする活動を多く取り入れる。
作文	・正答率は市の平均を10ポイント上回る。「文章や必要な事柄、理由を書く」項目は95%の児童ができています。しかし、「2段落構成で文章を書く」項目は57%しかできておらず、課題を残した。	・短作文を書く機会を多くする。また、段落を意識させた作文指導を行う。